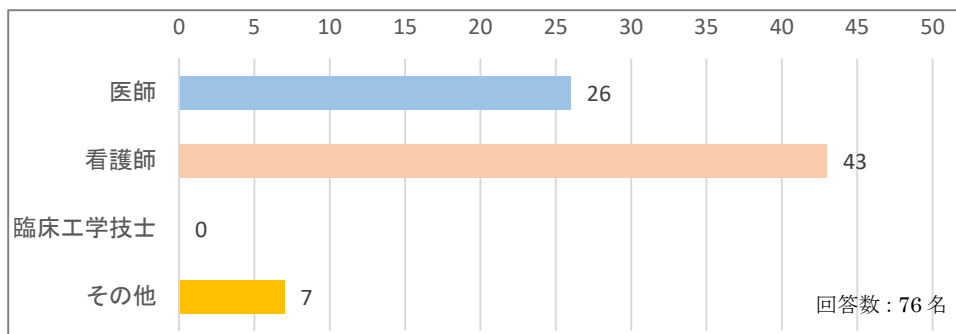


第 29 回 JSEPTIC セミナー  
(テーマ：ドレーン)  
参加者アンケート結果

実施日：2016 年 9 月 17 日（土）11：00～16：50

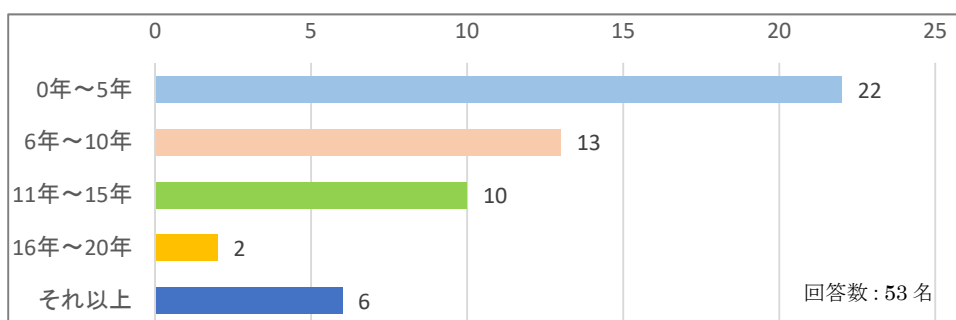
会場：東京慈恵医科大学

## 1. あなたのご職業を教えてください。

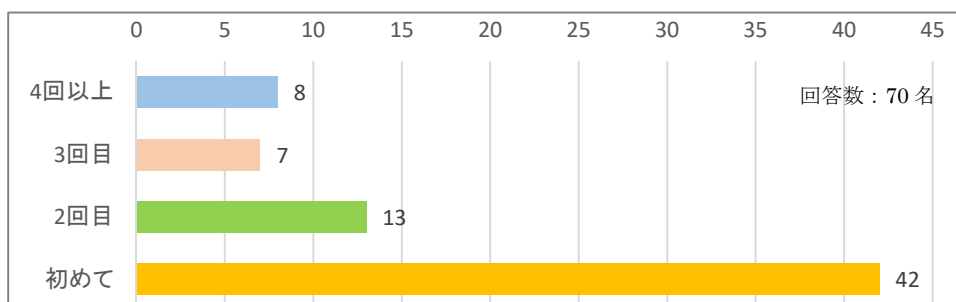


※その他7名（管理栄養士：5名、理学療法士：1名、薬剤師：1名）

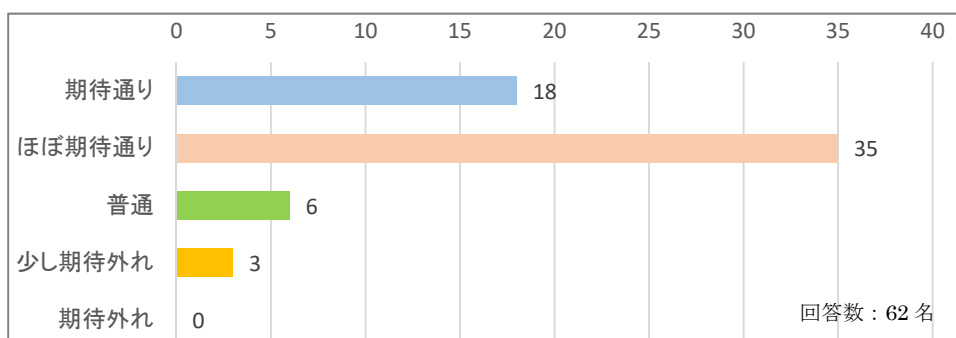
## 職種経験年数



## 2. 今回のセミナー参加は何回目ですか？



## 3. セミナーの内容は、期待していた通りでしたか？



#### 4. 具体的な感想をお聞かせ下さい。

|  |
|--|
| ●脳室ドレナージについては、基本的な内容で知っていることが殆どでした。3)については、VACの適応について疑問があったので、知ることができて良かった。  |
| ●脳室ドレナージが特にわかりやすかった。管理方法など今後に生かせそうです。  |
| ●復習にもなりましたし、新しい知識も得られました。Dr.の考えや治療についても深まり良かったです。  |
| ●基本的な内容から丁寧に説明して頂いた。   |
| ●「ドレーン」というテーマはかなり難しく、いわゆるエビデンスという答えに近いものがないのが現状です。その上で各演者の考え方を伺って勉強になりました。   |
| ●どの先生も文献・エビデンスを踏まえて話してもらえて、面白かった。ただ、資料は欲しかった。資料の配布がないなら、募集の段階で明記して欲しかった。   |
| ●PTGBAでの成績。Fistnloclysisに興味深かった。蛋白量upに興味深かった。  |
| ●本に加えた内容が聞けたこと。  |
| ●ナースにもわかりやすい説明で良かった。   |
| ●2),3)については、すごくわかりやすかったです。とても勉強になった。スライドがとても欲しかった。配った方が良いと思う。  |
| ●分かり易いので良かった。  |
| ●初歩的なところから詳しく説明して頂けた。  |
| ●ルーチンになりがちだが、改めてドレーンの意味を考える機会になった。   |
| ●総論が多かった。でも、まとめられていて良かった。  |
| ●瘻孔のある患者の栄養管理、VAC療法の話が聞けて良かった。胆道系ドレナージの分野についてもとても勉強になりました。   |
| ●治療について看護師が観察したり扱う方法を具体的に教えて頂いたと思います。  |
| ●脳室ドレナージについて、病理・解剖からの内容で管理まで繋がりがわかり易かった。   |
| ●6)色んな施設での対応が聞けて良かった。Fisfulaの初期のトライアングル理論はとてもわかり易く実践的だった。ほぼ全例腸管オペでドレーンを入れられている外科オペを見てきたが、やはり目的やエビデンスを「知っておく必要を感じた」胆道系ドレナージについては、とてもわかりやすいスライドと講義でイメージができました。 |
| ●インテレンビストを読んで持った印象とほぼ同様でした   |
| ●ドレーンの基礎知識からドレーン管理の注意点まで総合的な内容で期待通りでした。  |
| ●解剖生理からであったり、様々なRCTについてだったり色々な話が聞けてよかった。   |
| ●普段疑問に感じていたことが話題に上がってよかった。   |
| ●総論で、難しいよなあーと  |
| ●5)は医師向けな感じがあった。ナース向けでも聞きたかった。   |
| ●スモールディスカッションでは、EBMはしめせないまでも病態生理学的アプローチに基づいたディスカッションがあってもいいのではないかと思います。  |
| ●治療などDr向けの内容が難しかった。  |
| ●各種の普段使用しないドレーンについて学べた。必要性について疑問をもつことが大事と思った。  |
| ●基礎的な内容も盛り込まれていてわかりやすかった。  |

## 5. 他にどのような内容をお聞きしたかったですか？

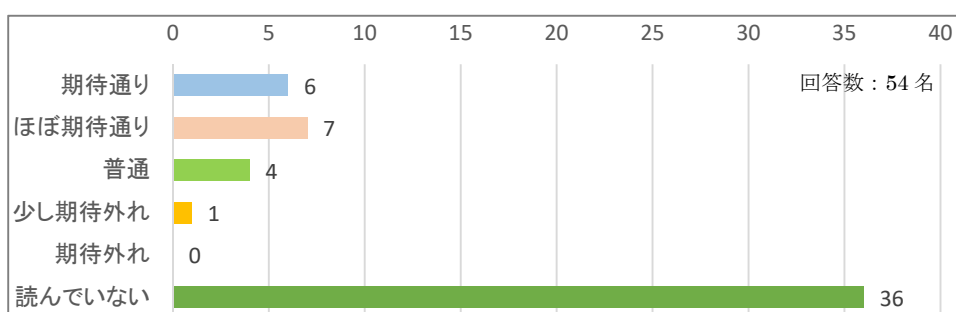
|  |
|--|
| ●感染予防の視点で脳室ドレーンの固定とドレッシング方法 頭皮の保清について知りたかった。   |
| ●ストマの管理の話ももう少し機器 y 他かったです。   |
| ●看護(実際の性状、Pt とへの声掛け等)を聞きたかったです。  |
| ●胸腔内、ストマ   |
| ●ドレーンについてのトラブルシューティングについて具体的に教えて貰いたかったです。(自分の立場では、他科のドクターにドレーンは入れてもらうことが多く、ICU で排液不良などが]あると毎度「今、相談するか?、明日、相談するか?」の葛藤があります。 |
| ●胆管炎の際の抗菌薬の選択。   |
| ●他職種だったので、胃管やバルーンなどのルーチンに必要なものについての内容があっても良かったと思います。   |
| ●ハルトマン手術はどの人工肛門造設でのストマなど   |
| ●腸腹筋膿瘍や肝膿瘍などのドレナージに関して、ペンローズなど細かい管理など。   |
| ●十分に聞けたと思います。  |
| ●ドレーンの基本的なことにもう少しふれてほしかった。   |
| ●日本で今多く行われている現状(外科医がドレーンを入れる、抜く、の判断を含む)についての演者の意思をもう少し聞きたいと思いました。  |
| ●先生方の症例をもっと聞けると○   |
| ●D 自体の目的が割と明確なので、総論が必要なのかと、、、  |

## 6. スモールディスカッションに関して感想・改善点などあれば具体的にお聞かせ下さい。

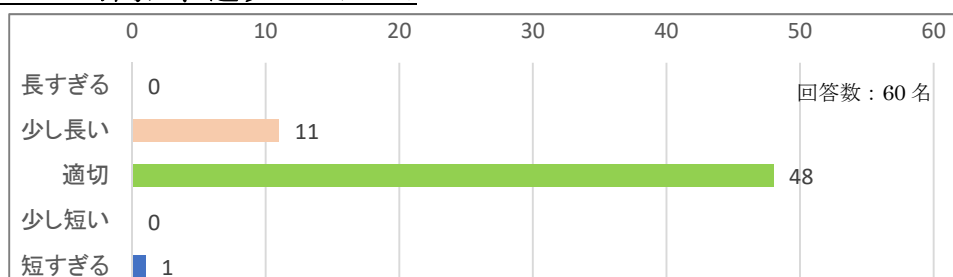
|  |
|--|
| ●テーマが絞れて短時間でも有意義だったと思いました。   |
| ●時間が短く感じた。   |
| ●話しあうならもう少し話したかったです。   |
| ●多職種がいる場合、まったくその分野にかかっていない人に話しにくいと思いました。   |
| ●楽しかったです。他の種類が混ざっていたので、立場の違いからの意見がさけました。   |
| ●多職種でのディスカッションのいつもの課題ですが、どうしてもドクター同士のディスカッションになりがちでそれ自体は悪くはないのかもしれませんが、ファシリテーターの仕方などは見直しても良いかもしれません。 |
| ●ファシリテーターの声が小さすぎて、グループ内の声が全体的に小さく、聞き取りにくかった。   |
| ●座って話したかった。  |
| ●他病院の管理方法が聞け、他職種の話が聞けて、とても興味を持って参加できた。   |
| ●多職種が話せる内容の方が良かった。   |

- 立ったままのディスカッションになったので、座った方が落ち着いてできたかも知れません。ディスカッション時間が短かったことで、ディスカッションポイントについて、もう少し具体的にあらかじめ提示があった方がもう少し突っ込んだディスカッションができたかも知れません。
- もっと長い時間で細かい違いも比べてみたかったです。
- 進行役の方がいて、良かったです。
- 立ってディスカッションはいま一つと思います。(今回は会場の都合で難しいと思いますが…)
- とても勉強になりました。
- ナースなので、治療についての決定が難しかったです。
- 色々な意見が聞けて良かった。
- 胸腔ドレーンの講演も聞きたかった。
- 不足分の情報を後出して頂いたり、たればのケース毎にベターな治療のチョイスが分かると良かったかも知れません。
- 看護師など治療について問われると厳しいが、他の施設などの治療が聞けることは勉強になる。
- いろいろな意見を聞けて良かったです。
- ドレーン管理の経験がなかったので、事前に内容を教えていただけたら、準備ができたと思います。
- Dr.Ns がまざっての内容でしたが、治療に関してなのでNsはあまり意見がいえな気がします。職種で分けてしまうと、学習面での気づきが減りそうだし。あと、キュレーターの人が要領を得ていませんでした(大変でしょうが急なのはかわいそう)でも楽しかったです。症例検討はやっぱり役に立つ！
- もう少し、皆が発現できれば良いと思った。
- 医師の数がグループ内に少なくディスカッションにならなかった。

7. 雑誌 INTENSIVIST 特集「ドレーン (管)」の内容は、期待していた通りでしたか？



8. セミナーの時間は、適切でしたか？



9. 今後の JSEPTIC セミナーのセミナー形式・内容（テーマ）についてご意見等あればご記入ください。

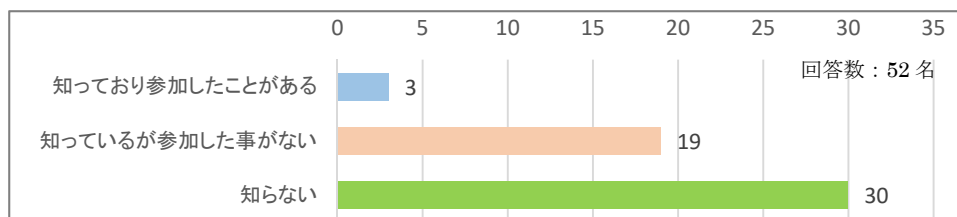
（例：インタラクティブ形式、他職種向け、実践的な内容、現行のまま、など）

|  |
|--|
| ●ドレーンの管理など NS 向けの内容もあり、とても勉強になりました。              |
| ●また、参加させて頂いて、考えます。                               |
| ●栄養管理  |
| ●スモールグループディスカッションを除く講義は、資料を先に配布して貰った方がわかりやすいと思う。 |
| ●医師・看護師の方と意見交換できたのは、貴重な経験でした。                    |
| ●安田先生のインタラクティブ形式は面白かったです。                        |
| ●他職種向け、実践的な内容、現行のまま。                             |
| ●スモールディスカッションがとても貴重な時間でした。                       |
| ●HS 向け   |

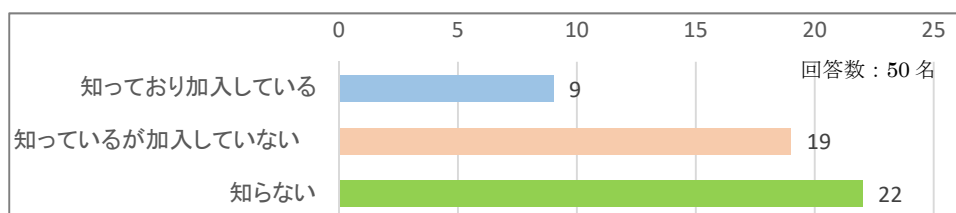
10. 今後雑誌 INTENSIVIST で特集してもらいたい内容は何か？

|                                   |
|-----------------------------------|
| ●ICUにおける災害対策                      |
| ●新しい Sep-1と3、リハビリテーション            |
| ●ドクターがナースに何を求めるのか。                |
| ●NCSE、Sepsis(2回目)、ICU と関係のある法律など。 |
| ●膠原病エマージェンシー、医療安全、エコー、輸液、中毒、脳卒中   |
| ●産科救急(再度掲載を)                      |
| ●気道管理                             |
| ●せん妄に良い内服薬を含めた治療法。                |
| ●チーム医療、教育について                     |
| ●ICUで起こりうるトラブルシューティング             |
| ●SIRSと呼吸(呼吸数、呼吸状態)                |
| ●IVR(放射線科関連)                      |
| ●VTE(周術期)                         |
| ●輸血、人工呼吸器管理(実際の設定 etc)            |
| ●PICS,早期離床                        |
| ●輸液                               |

### 11. JSEPTC-CTG にご存知ですか？



### 12. JSEPTIC Club にご存じですか？



※「加入していない」、とお答えいただいた方は差し支えなければその理由をお答えください。

- 聞いたことはあるが、どのように活動しているか等詳細は知らない。
- 知らなかったため。
- まだ知ったばかりであり、どういうクラブなのか？加入することで得られること等。良くわかっていないため。
- これから加入する。

以上